

1. 2015年1月の便り 年の初めに



和鉄の故郷 記紀神話の淡路島 紀淡海峡の夜明け



和鉄の故郷と、記紀神話の淡路島 紀淡海峡の夜明け
「未」の周年を迎えました
今年も笑顔の一年になりますよう
激動の時代に「まあええか 元気出してゆこう」と心は行ったり来たりです

娘・美和作

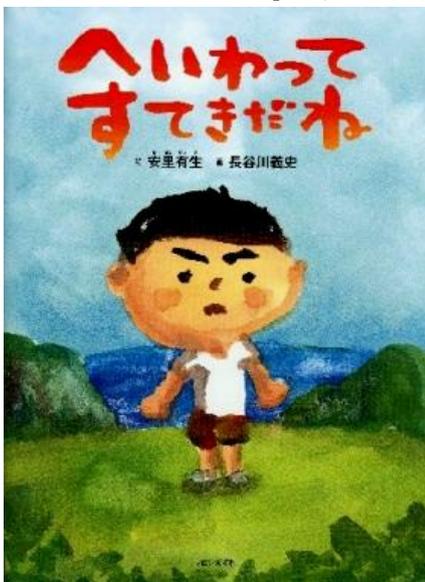


娘・美和 作

激動の時代 「未」の周年を迎えました いつも気にかけていただき感謝です
「まあええか 元気出してゆこう」と心は行ったり来たり
今年も笑顔の一年になりますよう よろしくお願ひ致します

2015年 1月1日 from Kobe by Mutsu Nakanishi

『へいわってすてきだね』 詩 安里有生 絵 長谷川義史



へいわって なにかな。
ほくは、かんがえたよ。
おともだちとなかよし。
かそくが、げんき。
えがおであそぶ。
ねこがわらう。
おなかがいっぱい。
やぎがのんびりあるいてる。
けんかしてもすぐなかなおり。
ちょうめいそうがたくさんはえ、
よなくにうまが、ヒヒーンとなく。
みなには、フェリーがとまっていて、
うみには、かめやかじきがおよいでる。
やさしいところがじになる。
へいわっていいね。へいわってうれしいね。
みんなのころから、
へいわがうまれるんだね。

せんそうは、おそろしい
「ドドーン、ドカーン。」
ばくだんがおちてくるこわいおと。
おなかがすいて、くるしむことも。
かそくがしんでしまって なくひとたち。

ああ、ほくは、へいわなときにうまれてよかったよ。
このへいわが、ずっとつづいてほしい。
みんなのえがおがずっと、つづいてほしい。

へいわなかそく、
へいわながっこう、
へいわなよなくにじま、
へいわなおきなわ、
へいわなせかい、
へいわってすてきだね。

これからも、ずっとへいわがつづくように
ほくも、ほくのできることからがんばるよ。

2. 今 一番気になっている言葉です

◆ ヒューマンを特徴づける「利他の精神」

「利他」なんていうと「何をええ恰好して・・・」と言われそうで、口にできなかつた言葉ですが、人間が人間たるゆえんが、この「他人を思う心」。

この精神があつてこそ 地球上で人間が生き延びてきた。それを真面目に考える時だ。

以前にも紹介しましたが、今急激な情報社会の中で、そんな余裕すら失われつつある時代に見える。そんなことを思いめぐらす年の初めである。

ヒューマンを特徴づける「利他的精神」がこんなところにも

人間が人間たる由縁は「他を思いやる心」を持っていること。現生人類が現代にまで、幾多の苦難を乗り越え、文明を発展させて 今まで生き延びることが出来たのは、この「他を思いやる心・利他的精神」を持ち合せていたからだという。そんな「心やさしき」縄文人は 世界3大文明に先駆け、縄文文化を花開かせ、日本人の心のふるさととなった。激しい競争社会が展開させる現在 今一度 この人類史の現実をみつめ直す必要がある。

ややもすれば 自己責任を強要する現代社会への警鐘 こんな身近な例からも社会を考えるヒントがある。

天声人語

おもしろい実験をネットで見
た。2本の高速道路が合流する
場合、どうすればすんなりと車
線変更できるかを探っている。
「渋滞学」の生みの親として知
られる東大の西成浩裕教授が説
明役だ▼車の代わりに人間が二つの道を
歩く。合流する直前まで互いが見えない
状況ですぐに車線変更しようとする
ぶつかりそうになったり、詰まったりす
る。危ない。そこで合流地点から一定の
距離を車線変更禁止とする。するとその
間、互いを見合い、譲り合いながら車線
を変えられるようになる▼われ先に走る
よりは、まわりとコミュニケーションを
取りながら運転するほうが、結果的に速
くなる。車間距離を十分に取ることもど
とともに、道路の流れをよくするための
知恵である▼この実験は「利他的精神実
験」と銘打たれている。西成教授が強調
するのは、他のドライバーへの思いやり
だ。目先のプラスばかりを追わず、長期
的視野を持つ。情けは人のためならず。
損して得とれ、とも。頭ではわかってい
ても、なかなか実行できないところが凡
夫の悲しさか▼きのう、Uターンラッシ
ュに巻き込まれた方も多いに違いない。
きょうも混雑が続くだろう。渋滞のスト
レスを長時間受け続けるつらさはいかば
かりか。どこにも出かかずじっとしてい
た身には、お気持ちを拝察することしか
できない▼大型連休が終わる。朝の駅の
雑踏が戻ってくる。遅い流れにいら立
って、ともすると前に出たがるのを自
戒することにする。急がば回れ、だ。

2014・5・6

2014. 5. 6. 朝日新聞 天声人語より

私になにを思ってきたか それがいまの私をつくっている
あなたがなにを考えてきたか それがいまのあなたそのもの
世界はみんなのところで決まる 世界はみんなのところで変わる
谷川俊太郎 「こころの色」より

現在の急激な情報化社会進展の中で、格差・差別・貧困がもたらす争いも急増し、武器など力を背景にそれを突破することはもはや困難で、解決の糸口さえ見つからぬ状況になってきた。

これを突破できる唯一の知恵はこの ヒューマンがこの多難な地球上で生きながら得る原動力だった「利他的精神」。それを提唱する人が数多くいる。もっとも 日本で正面だつていうのは、宗教家か教育者と相手にもされないが……。一方 2020年東京オリンピックをビジネスチャンスととらえ、それこそ「おもてなし」を声高に言う輩が多い。でも そのほとんどは その中身を理解せず、薄っぺらなマニュアル本よろしく、形だけのポーズでこれを利用する。そこには 利他の精神が根底にある「おもてなし」の心を全く理解せず、旧態依然とした力・金権体質が見え隠れる。言葉と言葉の中にある本質理解 その乖離が日本ではIT社会の進展とともに、益々広がっている。

今 これに歯止めがかからぬと 日本はまたぞろ世界の孤児になりかねない。

そんな監視役を担えるのは 経験豊富でしかも 日本の高度成長と貧困時代を経験してきた高齢層にしかない。

年寄は静かにリタイヤなんて 言って居れぬ時代。今こそ 年寄がものを言わねばならない。

谷川俊太郎さんの詩が グサッと胸に突き刺さる。

年寄はまだ退場してはならぬ。俺流の中に自分の生きてきた道で培った判断力を行使せねば……。

俺流というと すぐに自己流とごかいされそうですが、もちろん仲間・家族がいての俺流である。

◆ ジョージ カーリンの「いつまでも若くいるコツ」

今年は「未年」 私の周り年 高齢者の仲間入り。

行動半径も小さくなりつつある今、どんな生き方が一番なのだろうか？

相変わらずの勝手気ままな風来坊生活に みんなどうしているのだろうか？ と。

久しぶりにジョージ カーリンの「いつまでも若くいるコツ」の動画を引っ張り出して、笑ってしまった。バックに流れるBGMが美しく、高齢者にとって、彼が言う「示唆に富んだ楽天性」が楽しくて、時折引っ張り出しては、眺めています。

「こんだけ 楽天的に楽しく暮らしたら本当に楽しいやろうなあ・・・」と。

でも 随所に 利己的にならずに 仲間と暮らす知恵がある。ちょっとづつでも胸張って 前向いてと。年寄には厳しい時代 こんな楽天性や仲間に助けを求めるのも必要か

ジョージ カーリン氏からのメッセージ

「老いを嘆くことはない。100才になったら 赤ちゃんに戻れるんだから……
そして 忘れてはいけない。

人生とは、自分が息を吸う数ではなく 息を吐く瞬間で測定するものです。

充実した毎日を生きましょう!!

」と

《 いつまでも若くいるコツ 》 by ジョージ カーリン

1. 年齢、体重、身長など、どうでもいい数字は気にしないこと こんな事は医者任せましょう。そのために医療費を払っているのですから。
2. 元気な友達とだけ付き合うこと 愚痴しか言わない人といると、こちらの気持ちも暗くなります。
3. 生涯学習あるのみ コンピュータ、工芸、ガーデニング、ハム無線、なんでもよいので学ぶ姿勢を持ちましょう。脳を怠けさせない事。怠けた心には、衰えという悪が宿ります。
4. 単純な事を楽しみましょう
5. 沢山、長く、大きな声で、お腹が痛くなるくらい笑いましょう
6. 悲しみ、耐えて、そしてまた進む 涙も出るでしょう。しかし生涯付き合ってくれるのは、自分自身です。命ある限り、自分の人生を歩みましょう。
7. 好きなものに囲まれて暮らしましょう 家族、ペット、思い出の品、音楽、植物、趣味、何でもいいですから好きなものに囲まれて暮らしましょう。家は自分の居心地の良い場所なのですから。
8. 体を大切に！ 今健康ならそれを維持し、悪いなら、改善に努めそれが無理なら、助けを求めましょう。
9. 後悔しないこと ショッピング、隣町、外国、とにかく後悔する気持ちを忘れさせてくれる場所に出かけましょう。
10. どんな時でも、大切な人に「愛している」と伝えましょう

そして忘れてはいけない事： 人生とは、自分が息を吸う数ではなく息を吐く瞬間で測定するものです。充実した毎日を生きましょう!!

今できることを 精一杯 無理せずゆっくりと
好奇心さえあれば・・・と前向いて
お互い笑顔で 前向き思考 元気で乗り切って行きましょう

2015年1月1日 From Kobe
Mutsu Nakanishi

